公立大学法人
宮城大学
MIYAGI UNIVERSITY

お問い合わせ 宮城大学 復興人材育成プログラム推進室

大和キャンパス
宮城県黒川郡大和町学苑1-1 TEL:022-377-8649 FAX:022-377-8669

太白キャンパス
宮城県仙台市太白区旗立2-2-1 TEL:022-245-1642 FAX:022-245-1534
Email: cp-suishins@myu.ac.jp (受付時間／平日9:00～17:00)

ANNUAL REPORT 2019

宮城大学 フィールドワーク系科目

地域連携型実践教育プログラム アニュアルレポート 2019

宮城大学 復興人材育成プログラム推進室

公立大学法人
宮城大学
MIYAGI UNIVERSITY

地域とともに学ぶ。

地域とともに育む未来　―東北から発信する持続可能な地域・コミュニティ―

東日本大震災から約9年が経過しました。震災復興は仕上げのステージに入ってきていますが、まだ道半ばと言えるでしょう。震災は地域に甚大な被害を与えましたが、その一方で、私たちに「地域・コミュニティの価値」や「人と人との関わり・つながりの重要性」を再認識させる契機となりました。また、いくつかの被災地においては、復興をきっかけとした新たな取組みの中で「希望」も生まれてきています。

コミュニティ・プランナープログラムは、阪神・淡路大震災の復興に取り組む兵庫県立大学と東日本大震災の震災復興に取り組む宮城大学が連携し、地域に根ざす公立大学として、これからの地域の担い手を育てていく「地域連携型実践教育プログラム」です。本プログラムは、文部科学省の補助事業としてスタートし、2017年度の大学改革において、全学群必修科目の地域フィールドワーク、コミュニティ・プランナープログラムとして再構築され、3年目を迎えました。

人口減少時代というかつて経験したことのない未知の世界に入り、大学は地域の未来を牽引する「知の拠点」として機能を果たしていかなければなりません。地域の未来を担う人材の育成は、大学にとっても喫緊の課題です。本プログラムは、こうした地域の期待を踏まえながら、学生が地域と共に学び、その経験を地域に還元していくための実践的な教育プログラムとなっています。学生自らが地域の課題を発見し、様々な学習を踏まえて、地域の解決策を提案していく力を得ていくことが本プログラムの目的です。本プログラムを履修した学生は、全課程を修了すると、卒業時に「コミュニティ・プランナーアソシエイト」が授与されることになります。

2019年台風19号は、宮城県をはじめ全国各地に甚大な被害を及ぼしました。宮城大学は、被災地に立地する公立大学として、これまで様々な震災復興支援やボランティア活動に携わってきました。これからも、これらの経験を踏まえ、宮城県や被災地の自治体、NPO、企業、市民団体等と連携を深めつつ、創造的復興の実現と持続可能な地域創造に資する人材育成を目指していきます。コミュニティ・プランナープログラムから輩出される地域人材は、東北の未来を創造していく重要な礎となっていくでしょう。

宮城大学 復興人材育成プログラム推進局
代表教員　**郷古 雅春**

学群を横断し、さまざまな教員が関わり運営しています。

令和元年度 地域フィールドワーク 統括教員

郷古 雅春教授／風見 正三教授／平岡 善浩教授／舟引 敏明教授／大熊 恵子教授／森本 素子教授／川島 滋和教授／佐々木 秀之准教授／石田 祐准教授／木村 三香准教授／齊藤 奈緒准教授／千葉 克己准教授／中沢 峻特任講師
ほかクラス担当教員16名

令和元年度 コミュニティ・プランナー科目 担当教員

看護学群　安齋 由貴子教授／大熊 恵子教授／桂 晶子准教授
事業構想学群　風見 正三教授／郷古 雅春教授／平岡 善浩教授／千葉 克己准教授／高橋 信人准教授／佐々木 秀之准教授／石田 祐准教授／友渕 貴之助教
食産業学群　小林 仁教授／元木 康介助教
基盤教育群　河西 敏幸教授／中沢 峻特任講師

復興人材育成プログラム推進室

大和キャンパス　髙橋 結特任調査研究員／佐藤 加奈絵特任調査研究員／水野 葉子事務補助
太白キャンパス　佐伯 幸恵特任調査研究員／堀内 秀一特任調査研究員／大沼 奈々事務補助

地域連携型実践教育について

地域連携型実践教育とは

宮城大学では、地域の歴史・文化・資源を活かしたコミュニティづくりや、地域の人びとととともに課題解決ができる人材（コミュニティ・プランナー）の育成を目指す教育プログラムを実施しています。
1年次に全学必修科目「地域フィールドワーク」、2〜3年次に全学共通選択科目「CP概論及び演習」「CP実践論」「CPフィールドワーク演習」を開講し、主に「講義（座学）＋フィールドワーク（実践）」の形式で学びを深めていきます。
地域コミュニティの現場に触れ、自らの目でみて・聞いて・体験し、学習することで、地域の人びととともに考えながら、地域本来の良さを活かした、これからのコミュニティづくりの実践手法を習得していきます。

カリキュラム概要

コミュニティ・プランナー／コミュニティ・プランナープログラム

現在、公共機関のまちづくり分野、福祉や医療、商業や農業など、あらゆる分野において、地域主体の視点を持った人材が求められています。
本プログラムでは、コミュニティ・プランナーとして、地域が抱える多様な課題の解決や、地域が求める多様なコミュニティづくりに貢献できる人材の育成を目指し、教育プログラムを展開しています。

単位について

基盤教育科目の「地域フィールドワーク」1科目2単位、CP科目の「CP概論及び演習」「CP実践論」「CPフィールドワーク演習」の3科目6単位、各学群既存科目である「CP関連科目」のうち2領域以上から6科目12単位以上を履修します。合計20単位以上を履修することで卒業時に宮城大学と兵庫県立大学の連名で『コミュニティ・プランナーアソシエイト』の称号が授与されます。

GREENの視点

持続可能（サスティナブル）な地域コミュニティを構築し、維持してゆくためには、緑ある環境をベースにして、人、植物、動物、全ての生命（いのち）がつながり、関わり合うことが必要です。このような、すべての生命（いのち）のつながり、関わりを意味するものを「GREEN」として、本プログラムにおける新視点として設定しています。

宮城県内自治体との連携

地域連携型実践教育プログラムの開講科目では、
フィールドとして宮城県内各地の自治体にご協力をいただき、講義を実施しています。
フィールドワークでの調査やヒアリング、自治体職員や地域の方からのレクチャーなど、
地域との連携を深めながら実践的な学びのプログラムを展開しています。

2014年（平成26年度）

大崎市（古川）	CP概論／CP基礎演習

2015年（平成27年度）

大崎市（鬼首）	CP概論／CP基礎演習
大崎市（古川）	CP実践論

2016年（平成28年度）

大崎市（岩出山）	CP概論／CP基礎演習
大崎市（鬼首）	CP実践論
大崎市（古川）	CPFW演習

2017年（平成29年度）

大和町	地域FW
富谷市	地域FW
利府町	地域FW
蔵王町	地域FW
大崎市（岩出山）	CP実践論
大崎市（鬼首）	CPFW演習

2018年（平成30年度）

美里町	地域FW／CP実践論
東松島市	地域FW
加美町	地域FW
岩沼市	地域FW
白石市	地域FW
村田町	地域FW
丸森町（耕野）	CP実践論
大崎市（岩出山）	CPFW演習

2019年（令和元年度）

大崎市（松山）	地域FW／CP実践論
加美町	地域FW
美里町	地域FW
女川町	地域FW
亘理町	地域FW
白石市	地域FW／CP実践論
石巻市（牡鹿）	CP概論及び演習／CP実践論
富谷市	CP実践論
大崎市（古川）	CPFW演習
大崎市（鳴子）	CPFW演習
仙台市	CPFW演習
丸森町	CPFW演習

宮城大学と兵庫県立大学との連携

阪神・淡路大震災および東日本大震災からの復興に取り組む兵庫県立大学と宮城大学が、
密接な連携体制のもと、コミュニティ・プランナープログラムの構築を進めてきました。
現在でも被災地に立地する公立大学として互いの強みを生かし、プログラムを共同で展開しています。

兵庫県立大学

- ▶神戸商科キャンパス
  （大学本部・経済学部・経営学部 ほか）
- ▶姫路工学キャンパス（工学部 ほか）
- ▶播磨理学キャンパス（理学部 ほか）
- ▶姫路環境人間キャンパス
  （環境人間学部 ほか）
- ▶明石看護キャンパス（看護学部 ほか）
- ▶淡路緑景観キャンパス
  （緑環境景観マネジメント研究科 ほか）

（ほか、9つのキャンパス）

宮城大学

- ▶大和キャンパス
  （事業構想学群・看護学群）
- ▶太白キャンパス（食産業学群）

令和元年度前期［1年次 全学群必修科目］

「地域フィールドワーク」

指定日開講・集中講義 ｜ 全6回 ｜ 履修学生：452名

1 …… 平成31年4月17日（水） **ガイダンス**
2 …… 平成31年4月24日（水） **自治体職員によるレクチャー**
3 …… 令和元年5月15日（水） **フィールドワークのテーマ設定**
4 …… 令和元年6月5日（水） **フィールドワーク**
5 …… 令和元年6月19日（水） **フィールドワークのまとめ作成**
6 …… 令和元年7月3日（水） **まとめの共有**

フィールドから学びや気づきを得る

宮城大学における基盤教育に位置づけられ、1年次の全学群必修科目として開講しています。

地域の自然・歴史・文化等を学びながら、グループワークやフィールドワークを通して地域の魅力や課題など、様々な気づきを促します。地域社会の将来に対する使命感を涵養し、今後の大学生活における主体的な学びに向けた動機づけとすることも目指しています。

令和元年度は大崎市、加美町、美里町、女川町、亘理町、白石市の6自治体をフィールドとしました。自治体のご協力のもと、看護学群、事業構想学群、食産業学群の学生452名が受講し、指定日・集中講義形式で開講した講義を通して、実際に地域へ足を運び、フィールドから学びや気づきを得ました。

6月5日の現地フィールドワークの際には、地域で活躍する企業やNPO、住民団体、観光地、主要施設などを訪問し、住民の方へのヒアリング調査やまちあるきを実施しました。

最後に講義の総括として、テーマ設定の背景・目的、調査結果、分析をまとめた「フィールドワークのまとめ」の作成に取り組み、グループで共有を行いました。最終講義ではご協力いただいた自治体のご担当者にお越しいただき、ふりかえりを行いました。

令和元年度前期［2年次 全学群共通選択科目］

「CP概論及び演習」

毎週水曜5限開講（サイトビジットのみ2～5限） ｜ 全15回 ｜ 履修学生：118名

1 …… 平成31年4月10日（水） **ガイダンス**
2（大和）…… 平成31年4月17日（水） **コミュニティ・プランナーに触れる①**
2（太白）…… 平成31年4月17日（水） **フィールドワークリテラシー①**
2（大和）…… 平成31年4月24日（水） **フィールドワークリテラシー①**
2（太白）…… 平成31年4月24日（水） **コミュニティ・プランナーに触れる①**
4 …… 令和元年5月8日（水） **フィールドワークリテラシー②**
5 …… 令和元年5月15日（水） **フィールドワークリテラシー③**
6-9 …… 令和元年5月25日（土） **コミュニティ・プランナーに触れる②～⑤（サイトビジット）**
10（大和）…… 令和元年5月29日（水）
10（太白）…… 令和元年6月12日（水） **ファシリテーション・ワークショップデザイン・グラフィックレコーディング①**
11 …… 令和元年6月19日（水） **ファシリテーション・ワークショップデザイン・グラフィックレコーディング②**
12 …… 令和元年6月26日（水） **プロジェクトマネジメント（心構え、マイプロジェクト検討①）**
13 …… 令和元年7月3日（水） **プロジェクトマネジメント（マイプロジェクト検討②）**
14 …… 令和元年7月10日（水） **プロジェクトマネジメント（マイプロジェクト検討③）**
15 …… 令和元年7月17日（水） **講義全体のまとめ・ふりかえり**

必要な基礎知識の習得

コミュニティ・プランナープログラムの2年次前期の科目として開講しています。

調査・企画力、ワークショップ運営やヒアリングの技術など、コミュニティ・プランナーとしてフィールドに出た際に必要なリテラシーを学び、地域の方々のパートナーとして課題解決に貢献できる基礎知識の習得を目指します。

地域コミュニティについての基礎知識を得た上で、自身とコミュニティとの関わり方について個人ワークで検討し、コミュニティ・プランナーの役割や姿勢について捉えていきました。その後、地域の現状を把握する視点として、地形・空間・生活をテーマにそれぞれの専門分野の教員から地域の多様な捉え方を学びました。

また、講義の一環として、Reborn-Art Festival2019と連携した講義を実施しました。復興の過程とその土地で暮らす方々から学び、ともに歩むことができる人づくりをめざし、被災沿岸地域となる石巻市牡鹿地区をフィールドに学びました。

サイトビジットでは牡鹿地区を訪問し、現地で活躍する実践者から地域での取り組みについてレクチャーいただき、コミュニティ・プランナーのイメージを掴む機会となりました。

令和元年度後期［2年次 全学群共通選択科目］

「CP実践論」

毎週水曜3限開講（初回講義3～4限、サイトビジット3～5限） ｜ 全15回 ｜ 履修学生：63名

1-2 …… 令和元年9月25日（水） **ガイダンス・CPの果たす役割について**
3 …… 令和元年10月2日（水） **地域調査のテーマ設定（ディスカッション）**
4 …… 令和元年10月9日（水） **地域づくり実践者による実践報告と地域調査結果の報告**
5 …… 令和元年10月16日（水） **地域づくり実践者による実践報告と地域調査結果の報告**
6-8 …… 令和元年10月23日（水） **サイトビジット（富谷チーム）とイメージの共有**
6-8 …… 令和元年11月6日（水） **サイトビジット（大和・松山チーム）**
6-8 …… 令和元年11月13日（水） **サイトビジット（太白・松山チーム）**
6-8 …… 令和元年12月23日（月）
令和2年1月8日（水） **サイトビジット（白石チーム）**
6-8 …… 令和2年1月17日（金） **サイトビジット（荻浜チーム）**
9 …… 令和元年10月30日（水） **地域づくり実践者による実践報告**
10 …… 令和元年11月6日（水） **プロジェクトのブラッシュアップ①**
11 …… 令和元年11月13日（水） **プロジェクトのブラッシュアップ②**
12 …… 令和元年11月16日（土） **CP科目合同発表会**
13 …… 令和元年11月27日（水） **プランニングの実践とまとめ①**
14 …… 令和元年12月4日（水） **プランニングの実践とまとめ②**
15 …… 令和元年12月18日（水） **最終報告会**

トップランナーから実践を知る

CP概論及び演習に続く、2年次後期の科目として、地域コミュニティに関わる専門家とのフィールドワーク、講義による事例把握や実体験を通じて、地域活性策を実行するプロセスへの理解を深め、より実践的な知識や技術の獲得と学びの深化をねらいとしています。

令和元年度の履修学生は、大和キャンパスでは大崎市（松山地区）、富谷市（しんまち地区）、石巻市（牡鹿地区荻浜）、白石市、太白キャンパスでは大崎市（松山地区）をフィールドとし、自治体や地域の方々のご協力のもと、講義を実施しました。復興・地域づくりの実践者や、フィールドとなっている自治体の職員の方から、実践報告や地域に関するレクチャーを通して地域についての知識や理解を深め、サイトビジットに向けた準備に取り組むとともに、コミュニティ・プランナーの果たすべき役割についての学びを深めていきました。サイトビジットでは事前の学習や検討に基づき、実践者へのヒアリングや現場の視察を行い、フィールドで情報収集を行い、企画の検討につなげました。

続いて、サイトビジットを踏まえ、具体的なアイディアの創出や、企画から提案に向けたプロセスを学ぶとともに報告会に向けた検討とプランのまとめを行いました。最終講義では、お世話になったフィールドの方々にもお越しいただき、大和キャンパスにて合同で報告会を実施しました。

令和元年度前期［3年次 全学群共通選択科目］

「CPフィールドワーク演習」

指定日開講・集中講義 ｜ 全15回 ｜ 履修学生：31名

1 …… 平成31年4月10日（水） **ガイダンス**
2（大和）… 平成31年4月17日（水） **企画の検討①**
3（大和）… 令和元年5月15日（水） **企画の検討②**
2（太白）… 令和元年5月22日（水） **企画の進捗報告会**
3（太白）… 令和元年6月1日（土） **企画発表とフィールドワーク**

※記載日程のほか、担当教員の指導のもと、プロジェクトベースにて講義を実施。

知能を技能に変える実習

コミュニティ・プランナープログラムの学群教育における最終科目として、コミュニティ再生の実践的経験を通じて、コミュニティ・プランナーとしての職能を理解しつつ、様々なステークホルダーとの協働手法や地域課題解決の実践手法を習得することを目指し開講しています。

本科目の履修学生は、大和・太白の両キャンパス合わせて計7つのグループに分かれ、大崎市鳴子地区・大崎市古川地区・仙台市定禅寺通り・丸森町の4地域をフィールドに、地域における企画の検討から実践を通して、プロジェクトベースで学修しました。

それぞれのフィールドにおいて各グループが、「地域で開催するお祭りでのアンケート調査及び提案」「世代間交流促進に向けたイベントの企画実施」「都市空間の利用促進につながる提案の検討」「SNSを活用したプロモーション企画及び動画制作」「地域住民との連携によるイベント参加」「地域の情報発信ツールの検討」「地域資源を用いた商品の試作とアンケート調査」といったプロジェクトを展開しました。フィールドワークを通して地域を調査するとともに、地域住民のみなさまをはじめとしたステークホルダーとの調整や地域課題解決に向けたアプローチの検討について試行錯誤を重ね、プロジェクトの立案、実践へとつなげていきました。

地域との関係性を育み、地域との関わりからコミュニティ・プランナーとしての気づきや学びを深め、講義終了後も、研究や活動を通して、継続した地域での取り組みへつなげていこうとする学生の主体的な動きも見られました。

令和元年度

「地域における連携・協働の取り組み」

講義でのフィールド活動にとどまらず、講義から生まれた学生企画の実践、被災沿岸部でのフィールドワークなど、地域社会・自治体・復興に関わるステークホルダーと連携した取り組みを通して、人材育成に必要な知見を深め、本プログラムの構築をすすめています。

地域における学生企画の実施

宮城大学×富谷しんまちプロジェクト ワークショップ

令和元年10月6日（日）／富谷市しんまち地区 旧醤油屋跡地

富谷市が開催した「富谷しんまちリノベーションワークショップ」において、新たな交流拠点の整備及びしんまち地区の活性化を目指し、施設に求める機能や活かせる資源の活用について来場者へヒアリングによるアンケートを実施しました。100名以上の方々より回答をいただき、後日、ヒアリング結果と地域での活動について、地域の方々へ向けて報告を行いました。

宮城大学× Reborn-Art Festival 2019

令和元年9月7日（土）・8日（日）／石巻市牡鹿地区荻浜

CP概論及び演習の講義で学生が検討したアイデアに基づき、Reborn-Art Festival会期中に学生プロジェクトを展開しました。荻浜において「たゆたう屋台」を設計・制作、また、「地域資源を利用した食メニュー」として、地元産食材のアナゴの骨や頭を活用したメニュー開発に取り組み、スープの試食を行いました。

被災地との協働

ポートランド州立大学被災地視察・学生交流

令和元年6月23日（日）／ 仙台市内（荒浜地区等沿岸地域含む）、THE6

ポートランド州立大学が実施する東日本大震災の教訓を学ぶための授業および視察プログラムの一環として実施しました。ポートランド州立大学と宮城大学学生によるフィールドワークと交流から、復旧・復興や防災・減災といったテーマで地域のレジリエンスについて学びました。

兵庫県立大学との連携

CP科目合同発表会

令和元年11月16日(土)
宮城大学大和キャンパス
交流棟 PLUS ULTRA-

10:00〜10:45　宮城大学発表(各グループ10分)
10:50〜11:45　兵庫県立大学発表(各グループ7分)
11:45〜12:00　総評

兵庫県立大学とのWebシステムによる中継講義として、CP実践論・CPFW演習の合同発表会を実施しました。宮城大学の3年生(CPFW演習)、兵庫県立大学の2年生(前期地域プロジェクト実践論・後期地域プロジェクト演習)が講義を通して検討したプランやプランの実施による成果を発表しました。

学生交流および事例視察

令和元年11月30日(土)・12月1日(日)

1日目　兵庫県立大学CP科目の講義視察(宝塚市内)
　　復興まちづくり事例視察
　　神戸港震災メモリアルパーク、KIITO
2日目　震災アーカイブ事例視察
　　人と防災未来センター
　　両大学のCP科目の成果報告会および
　　学生交流(淡水サロン)

CP科目を受講した宮城大学学生13名が兵庫県を訪問し、兵庫県立大学学生とCP科目の成果報告や意見交換を通して互いに学びを深め合いました。また、CP科目講義や阪神・淡路大震災からの復興・まちづくり事例である兵庫県内の施設等を視察しました。

(上段)CP科目合同発表会
(下段)学生交流および事例視察

活動実績・メディア掲載

2017年(平成29年度)

WEB媒体(自治体)
▶大和町Webサイト掲載
宮城大学地域フィールドワーク「宮城大学生がまち歩きを実施」
https://www.town.taiwa.miyagi.jp/soshiki/matisei/5419.html
(地域フィールドワーク)
▶富谷市Facebookページ掲載 6月17日、7月1日、7月8日、8月8日(地域フィールドワーク)
▶大崎市Webサイト掲載
大崎市 フォトニュース「宮城大学生が大崎市の地域活性化のため活動しました」
http://www.city.osaki.miyagi.jp/index.cfm/35,22400,html(CP科目)

自治体広報誌
▶広報たいわ 8月号掲載「宮城大学生がまち歩きを実施」(地域フィールドワーク)
▶広報りふ 8月号掲載「利府町×宮城大学 連携事業 地域フィールドワーク」
▶広報たいわ「たいわのわ」連載 平成29年10月号〜平成30年2月号
(地域フィールドワーク7月1日講義)

テレビ
▶東北放送 Nスタみやぎ 平成29年7月1日放送
(地域フィールドワーク7月1日講義)

新聞
▶河北新報 平成29年8月21日掲載(地域フィールドワーク8月8日講義)
▶日本経済新聞 平成30年1月27日掲載 (地域フィールドワーク)
▶日本経済新聞 Web版 平成30年1月27日掲載 (地域フィールドワーク)
▶河北新報 平成30年1月28日掲載(復興人材育成セミナー)

事例集
▶一般社団法人公立大学協会(2018)
「『公立大学の地域貢献機能 地域貢献プログラムの"LEAD"による事例分析』
p.9 宮城大学 自治体との協働による被災地域の復興・再生・発展を担う人材育成プログラム」

2018年(平成30年度)

WEB媒体(自治体)
▶白石まちづくり株式会社 蔵富人
Facebookページ掲載 6月6日(地域フィールドワーク)
▶美里町 起業創業サポートセンター kiribi　Facebookページ掲載
4月25日、6月6日(地域フィールドワーク)、10月17日(CP実践論)

自治体広報誌
▶市報ひがしまつしま 7月1日号掲載 (地域フィールドワーク)

テレビ
▶ミヤギテレビ OH!バンデス 平成30年6月18日放送
(地域フィールドワーク6月6日講義:東松島でのフィールドワークの様子)
▶東北放送Nスタみやぎ 平成30年11月15日放送
(CP実践論11月14日講義:丸森町でのフィールドワークの様子)

新聞
▶河北新報 平成30年10月28日掲載(CP実践論10月24日講義:美里町)
▶河北新報 平成31年1月18日掲載(CP実践論1月9日講義:最終報告会)
▶河北新報 平成31年2月18日掲載
(復興人材育成セミナー2月9日:宮城学院女子大学×宮城大学合同活動報告会)

事例発表等(学会等)
▶郷古 雅春、中沢 峻、千葉 克己、高橋 信人、佐々木 秀之(2018)
「地域連携型実践教育プログラムと農業農村工学について」農業農村工学会第67回大会講演会
▶髙橋 結、佐々木 秀之、中沢 峻、郷古 雅春(2018)
「大学教育における地域系科目の増加とNPOの連携可能性」
日本NPO学会 第20回年次大会
▶髙橋 結、佐々木 秀之、風見 正三(2018)
「サービスラーニング科目における受講者の省察に関する研究」
日本計画行政学会 第41回全国大会
▶髙橋 結、中沢 峻、佐々木 秀之、郷古 雅春(2018)
「地域人材育成に向けたアクティブラーニングモデルの構築」『季刊地理学』pp.38-39
▶郷古 雅春、佐々木 秀之、中沢 峻、佐藤 加奈絵、髙橋 結
仙台防災未来フォーラム2019ブース出展
「宮城大学復興に資する人材育成に向けた地域連携型実践教育プログラム」

2019年(令和元年度)

自治体広報誌
▶広報わたり7月号掲載「地域課題を町歩きで考察　大学生がフィールドワーク」

テレビ
▶Nスタみやぎ令和元年6月24日放送
(6月23日被災沿岸フィールドワーク:ポートランド州立大学フィールドワークの様子)

新聞
▶河北新報(石巻かほく) 令和元年6月5日掲載(CP概論及び演習5月25日講義:石巻市牡鹿サイトビジット)
▶河北新報 令和元年9月8日掲載(学生企画:石巻市牡鹿地区荻浜での企画実施)
▶河北新報(石巻かほく) 令和元年9月11日掲載(学生企画:石巻市牡鹿地区荻浜での企画実施)
▶環境新聞(コラム) 令和元年9月11日掲載(コミュニティ・プランナープログラムについて)
▶大崎タイムス 令和元年11月30日掲載(学生企画:CPFW演習 古川大正浪漫デー)

事例発表等(学会等)
▶中沢 峻・髙橋 結・佐藤 加奈絵・佐々木 秀之・郷古 雅春 世界防災フォーラム2019 ポスター発表
「Joint Development and Implementation of a Community Engagement Model Practical Education Program Based on Disaster Response Expertise」令和元年11月9日〜12日
▶中沢 峻・髙橋 結・佐藤 加奈絵・佐々木 秀之・郷古 雅春 世界防災フォーラム2019 パネル展示
「Learning in tandem with the region: Community Engagement Model Practical Education Program」令和元年11月9日〜12日
▶宮城大学後援会「結城登美雄氏講演会&パネルディスカッション」
地域連携型実践教育パネル展示　令和元年11月9日

CPアソシエイト授与者の就職(内定)先名

公務員
国土交通省　東北地方整備局
岩手県
石巻市(宮城県)
大館市(秋田県)
柏崎市(新潟県)
大和町(宮城県)
登米市(宮城県)

教育・医療機関
京都大学医学部付属病院
国立大学法人東北大学
東北大学病院

金融関係
(株)荘内銀行
東北労働金庫
盛岡信用金庫

企業
会津よつば農業協同組合(JA会津よつば)
伊藤建設(株)
NECネットイノベーション(株)
NTT東日本(株)
(株)奥羽木工所
大蔵山スタジオ(株)
(株)コメリ
JA東日本くみあい飼料(株)
鈴木農場
(株)ソルブレイン
(株)DNPデジタルソリューションズ
(株)TTK
(株)東広社
東北電力(株)
なんと農業協同組合(JAなんと)
日鉄日新製鋼(株)
パーソルプロセス&テクノロジー(株)
(株)ピーエス三菱
福山通運(株)
マックスバリュ南東北(株)
三井住友海上火災保険(株)
ヤマカノ醸造(株)
ヤマニ建設(株)
自営業

地域連携型実践教育のあゆみ

2012年(平成24年度)

文部科学省 大学間連携 共同教育事業 採択事業
宮城大学・兵庫県立大学
「コミュニティ・プランナー育成のための実践的教育課程の構築」
試行プログラム(部会活動等)を実施

2013年(平成25年度)

コミュニティ・プランナーカリキュラム検討、試行授業実施
試行プログラム(部会活動・兵庫宮城学生交流会等)を実施

2014年(平成26年度)

コミュニティ・プランナー科目 開講
コミュニティ・プランナー教育センター(CPEC)運営開始
1(2)年次前期 コミュニティ・プランナー概論(大崎市古川地区):履修生144名
1(2)年次後期 コミュニティ・プランナー基礎演習(大崎市古川地区):履修生68名

2015年(平成27年度)

2(3)年次前期 コミュニティ・プランナー実践論(大崎市古川地区):履修生15名
1年次前期 コミュニティ・プランナー概論(大崎市鳴子温泉・鬼首):履修生71名
1年次後期 コミュニティ・プランナー基礎演習(大崎市鳴子温泉・鬼首):履修生37名

2016年(平成28年度)

地域フィールドワークカリキュラム検討開始
(10月部門設置)文部科学省 事業終了
第1期生 卒業・アソシエイト授与者3名
3(4)年次前期 CPFW演習(大崎市古川地区):履修生9名
2年次前期 コミュニティ・プランナー実践論(大崎市鳴子温泉・鬼首):履修生22名
1年次前期 コミュニティ・プランナー概論(大崎市岩出山地区):履修生157名
1年次後期 コミュニティ・プランナー基礎演習(大崎市岩出山地区):履修生81名

2017年(平成29年度)

宮城県「宮城大学復興人材育成事業」にて事業実施
宮城大学 学群学類制移行
1年次 全学必修科目 地域フィールドワーク 開講
第2期生 卒業・アソシエイト授与者6名
3年次前期 CPFW演習(大崎市鳴子温泉・鬼首):履修生21名
2年次前期 コミュニティ・プランナー実践論
(大崎市岩出山地区):履修生18名
1年次前期 地域フィールドワーク
(大和町、富谷市、利府町、蔵王町):履修生437名

2018年(平成30年度)

第3期生 卒業・アソシエイト授与者20名
3年次前期 CPFW演習(大崎市岩出山地区):履修者12名
2年次前期 コミュニティ・プランナー概論及び演習:履修生60名
2年次後期 コミュニティ・プランナー実践論
(美里町・丸森町耕野地域):履修生43名
1年次前期 地域フィールドワーク
(東松島市・加美町・美里町・岩沼市・白石市・村田町):履修生431名

2019年(令和元年度)

第4期生 卒業・アソシエイト授与者12名予定
3年次前期 CPFW演習31名
(大崎市鳴子温泉地域、大崎市古川地区、仙台市定禅寺通り、丸森町)
2年次前期 コミュニティ・プランナー概論及び演習
(石巻市牡鹿地区):履修者118名
2年次後期 コミュニティ・プランナー実践論
(大崎市松山地区、富谷市しんまち地区、石巻市牡鹿地区荻浜、白石市):履修者63名
1年次前期 地域フィールドワーク
(大崎市松山地区、加美町、美里町、女川町、亘理町、白石市):履修生452名